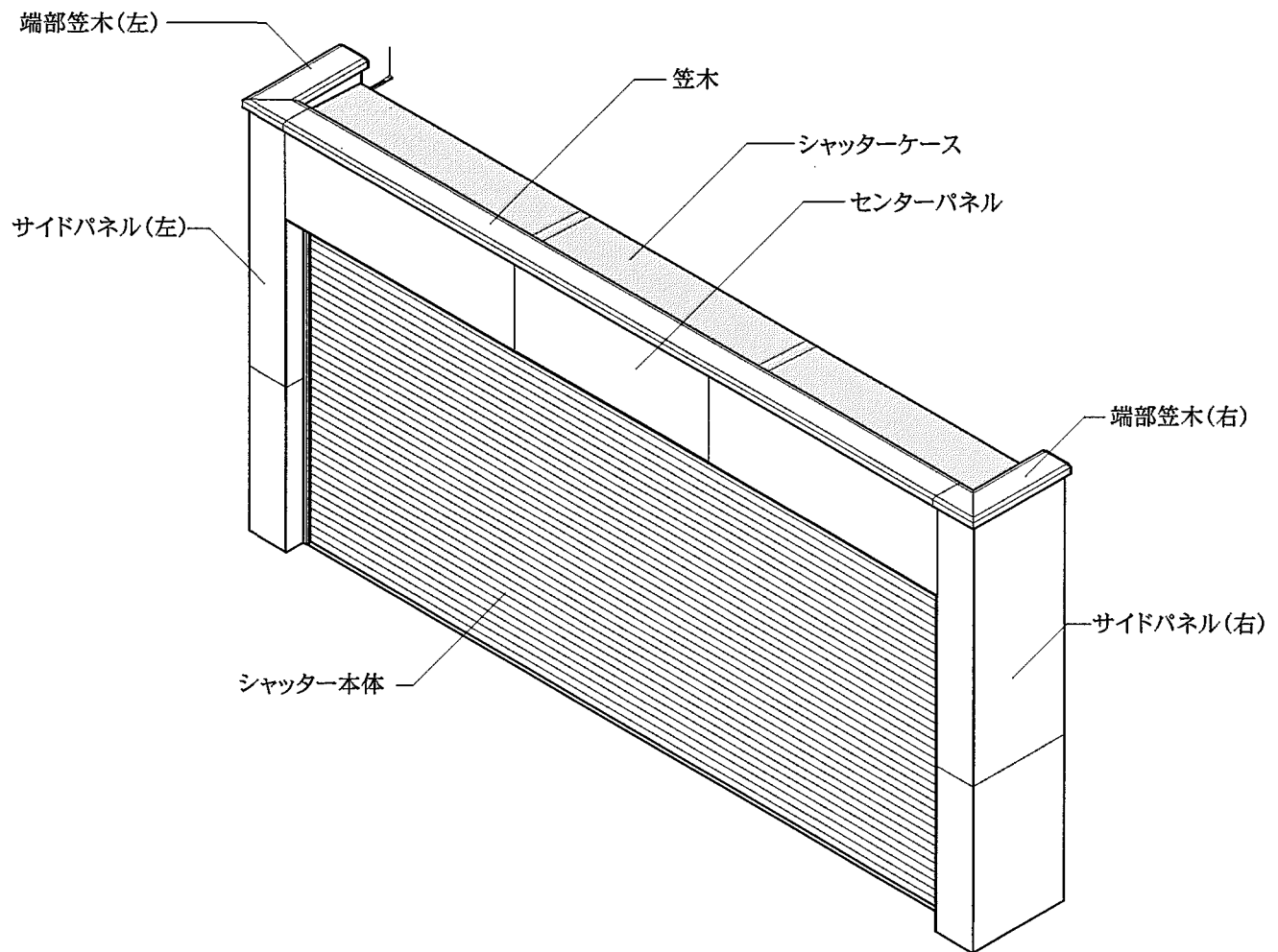
新日軽
シャッターゲートR型　組立施工マニュアル

●この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
●本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたっては必ずお守りください。
●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。

工事店様へのお願い

●商品の施工につきましては、必ずこの説明書に従ってください。
●本マニュアル及び同梱のお施主様用手引きは、下記の手順に従って必ず施主様へお渡しください。

取付説明書：販工店様
▼
電気工事店様
▼
販工店様
▼
施主様

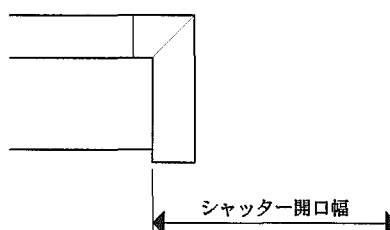
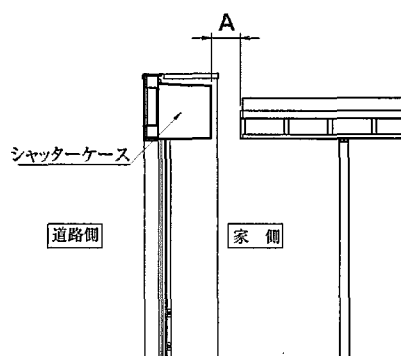
取扱説明書：販工店様
▼
施主様

●製品の引渡し時には、施主様に使用方法・使用上の注意・お手入れ方法等の説明を十分に行ってください。

INDEX

注意

■設置上のご注意

●施工場所に製品が寸法的に納まることを確認してください。
●サイドパネルは地中に埋め込み、必ずコンクリートで固定してください。
●サイドパネルの基礎穴に他の配管(水道、ガス等)が埋め込まれていないことを確認してください。
●ガス給湯器などの熱や排気ガスが製品に直接当たる、またはこもるような場所に設置しないでください。
熱による塗装劣化・はくり、また排気ガスによる腐食の原因になります。
●開口部(シャッター座板が接地する部分)は、必ず水平に仕上げてください。

A:カーポートが先に付いている場合は500mm以上あけてください。
(シャッターの取付に必要です。)
シャッター工事の後にカーポートを取付ける場合は150mm以上離してください。(シャッターのメンテナンスに必要です。

・アルミシャッターまたはハイリンクシャッターの場合は必ず家側の左右どちらかにシャッター開口幅分以上のスペースを確保してください。
シャッターの組立に必要です。

■施工上のご注意

●外装仕上げ厚は20mm以下にしてください。　また、モルタルを含む仕上げ材の重量は40kg/㎡以下にしてください。
●一次側電源工事及び結線は、有資格者の電気工事店様にご依頼ください。
●サイドパネルの埋め込みは基準通りに行ってください。また、現場の状況(軟弱地盤等)によって基礎の大きさを考慮してください。
●コンクリート用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれる為アルミ合金が腐食する恐れがありますので、海砂は使用しないでください。
●アルミ合金が腐食する恐れがありますので、モルタルやコンクリートの急結剤は使用しないでください。やむなく使用する場合は、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
●施工時に製品の表面に付着したモルタルやコンクリートは速やかに拭き取ってください。
●ボルト、ねじ、金具等の緩み等がないか確認してください。
●みだりに製品の改造・変更を行わないでください。
●施工完了後は開閉チェックを行い、不具合がないか確認してください。

■施工の流れ

設置位置出し ▶ 基礎穴掘及び割栗・捨てコン ▶ アンカー施工 ▶ サイドパネル設置 ▶ センターパネル設置 ▶ 電源工事 ▶ 基礎打ち ▶ 壁仕上げ ▶ シャッター工事 ▶ 笠木取付 ▶ 土間コンクリート仕上げ ▶ 動作確認

■R型

●車1台用
170
613
665.5
全幅:3555[GW+695]
3500[GW+640]
285 35 ゲート開口幅:GW(シャッター開口幅:W)=2860 35 285
50
455
全高:2805[H+505]
シャッター開口高さ H=2300
700
450
150
100
350
800
2380[GW−480]
275
2930(柱内々寸法)[GW+70]
275
153.5
593
153.5
900
●車2台用
170
728
780.5
全幅:5805[GW+695]
5750[GW+640]
285 35 ゲート開口幅 GW=5110 35 285
シャッター開口幅:W=5090(アルミ・ハイリンク)[GW−20]
5100(パイプ)[GW−10]
50
630
全高:2980[H+680]
シャッター開口高さ H=2300
700
450
150
100
800
4630[GW−480]
275
5180(柱内々寸法)[GW+70]
275
146
708
146
1000

梱包内容一覧

車1台用

■センターパネルセット

名 称		数 量
センターパネル組立		1
組立施工マニュアル		1
お施主様用手引き		1
シャッター取付用部品袋 ※1		
内容	ブラケット裏板	2
	皿タッピンネジ(3種)4×20	10
	トラスタッピンネジ(2種)4×10	12
	トラスタッピンネジ(3種)4×16	12
	取付説明書	1

※1.開封せずにシャッター取付担当者にお渡しください。

■サイドパネルセット(右)

名 称	数 量
サイドパネル(右)組立	1
レール(右)	1
レールカバー	1

■サイドパネルセット(左)

名 称	数 量
サイドパネル(左)組立	1
レール(左)	1
レールカバー	1

■笠木セット

名 称	数 量
笠木	1
端部笠木(左・右)組立	各1
笠木キャップ	2
笠木ジョイント	4
笠木台座	10
トラスタッピンネジパッキン付(3種)4×10	21
ナベタッピンネジ(3種)4×8	21
トラス小ネジ M4×8	12

■部品箱セット

名 称	数 量
ベースプレートA(左・右)	各1
ベースプレートB	2
ジョイント金具(上)	2
ジョイント金具(下)	2
埋め込み調整金具	6
ナベタッピンネジ(2種) 4×10	24
六角Wセムスボルト M10×30	34
六角ボルト M10×50	12
オールアンカーCタイプ M10×60	8
アイボルト M12	6

車2台用

■センターパネルセット

名 称		数 量
センターパネル組立		1
組立施工マニュアル		1
お施主様用手引き		1
シャッター取付用部品箱 ※1		
内容	六角Wセムスボルト M12×30	4
	トラスタッピンネジ(2種)4×10	12
	ナベタッピンネジ(3種)4×6	26
	取付説明書	1

※1.開封せずにシャッター取付担当者にお渡しください。

■サイドパネルセット(右)

名 称	数 量
サイドパネル(右)組立	1
レールカバー(右)	1
レール(右)	1

■サイドパネルセット(左)

名 称	数 量
サイドパネル(左)組立	1
レールカバー(左)	1
レール(左)	1

■笠木セット

名 称	数 量
笠木	1
端部笠木(左・右)組立	各1
笠木キャップ	2
笠木ジョイント	4
笠木台座	13
トラスタッピンネジパッキン付(3種)4×10	28
ナベタッピンネジ(3種)4×8	28
トラス小ネジ M4×8	12

■部品箱セット

名 称	数 量
ベースプレートA(左・右)	各1
ベースプレートB	2
ジョイント金具(上)	2
ジョイント金具(下)	2
埋め込み調整金具	6
高さ調整金具	2
ナベタッピンネジ(2種) 4×10	24
六角Wセムスボルト M10×30	38
六角ボルト M10×50	14
オールアンカーCタイプ M10×60	8
アイボルト M12	6

施工手順

■基礎の施工

①取付寸法図及び基礎施工図を参照の上、サイドパネルの設置場所を決め、捨てコンクリートを施工してください。
この時、左右の水準を十分確認してください。

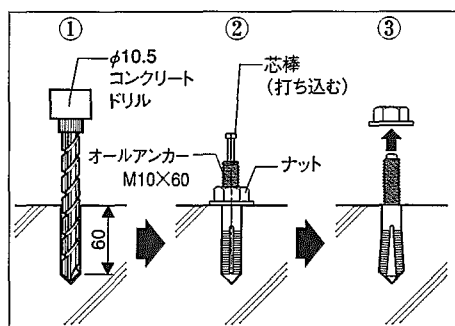
②コンクリートが十分硬化してから墨出しをし、オールアンカーの穴あけ(φ10.5)を行ってください。

■オールアンカーの取付

(サイドパネル設置後でも可能です。)

①直径10.5mmのコンクリートドリルで深さ60mmの下穴をあけてください。

②オールアンカーに付属のナットを手で一杯までネジ込んで、穴にオールアンカーを入れ、芯棒をハンマー等で充分打ち込んでください。

③ナットを一旦、取り外しておいてください。

■ベースプレートの取付

①埋込調整金具を片側3箇所(計6箇所)にナベタッピンネジ(2種)M4×10で取付けてください。

②埋込調整金具にM10×50六角ボルト(調整用)を約半分までネジ込んでください。

③サイドパネル支柱の道路側にベースプレートA、家側にベースプレートBをそれぞれ差し込み、六角WセムスボルトM10×30(固定用)で仮固定してください。

■注意事項

※レールカバーBは、シャッター取付時まで傷が付かないよう保管してください。

基礎施工図

170　170　家側　道路側　1000(900)　803(688)　428(313)　220　98.5(106)　320　215　5060[GW-50]　(2810[GW-50])　215　320

基礎コンクリート　捨コンクリート　栗石　450　700　100　150　800　道路側　家側　146(153.5)　708(593)　1000(900)　146(153.5)

※(　)内は車一台用を示す。

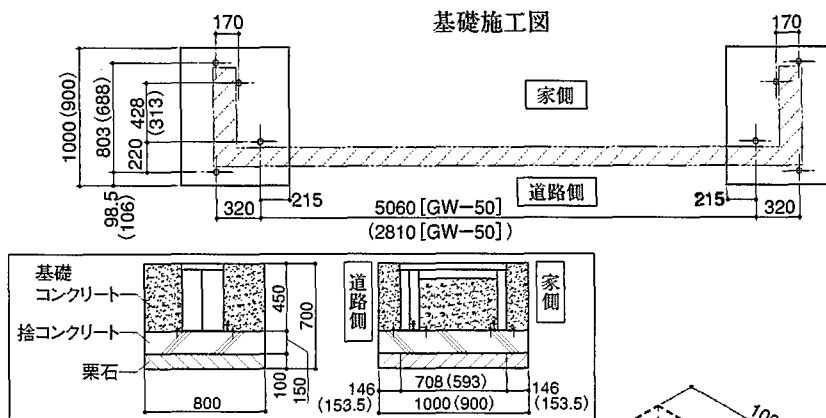
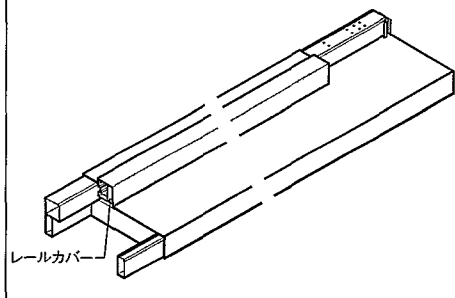
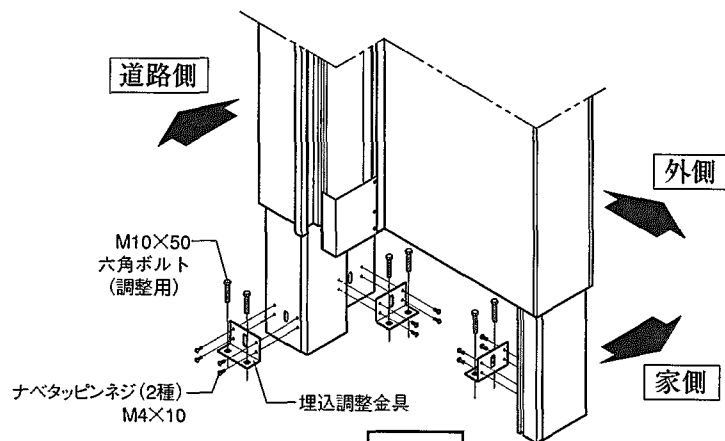
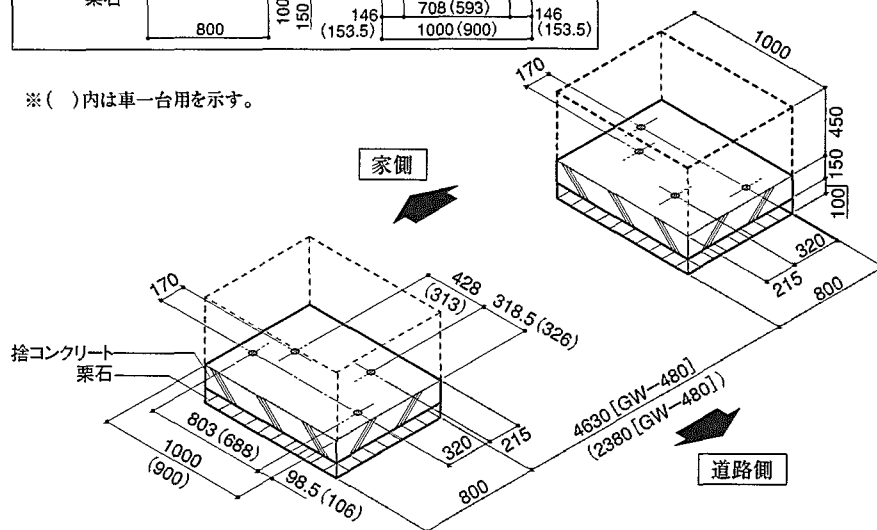
家側　1000　170　450　150　100　320　215　800

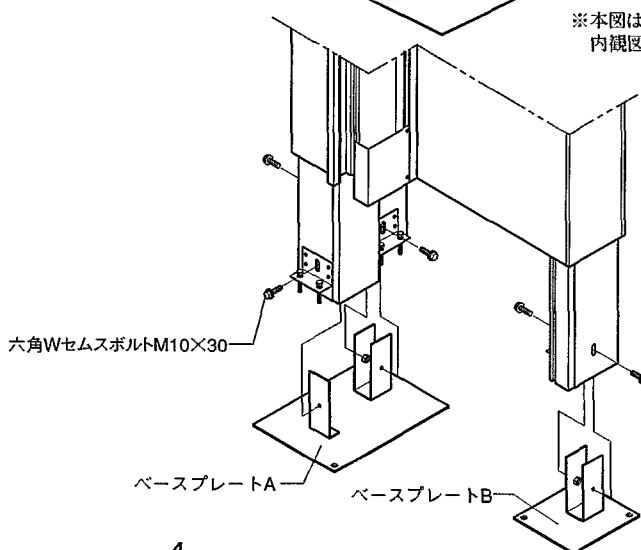
170　428(313)　318.5(326)　捨コンクリート　栗石　803(688)　1000(900)　98.5(106)　320　215　800　4630[GW-480]　(2380[GW-480])　道路側

道路側　外側　家側

M10×50六角ボルト(調整用)

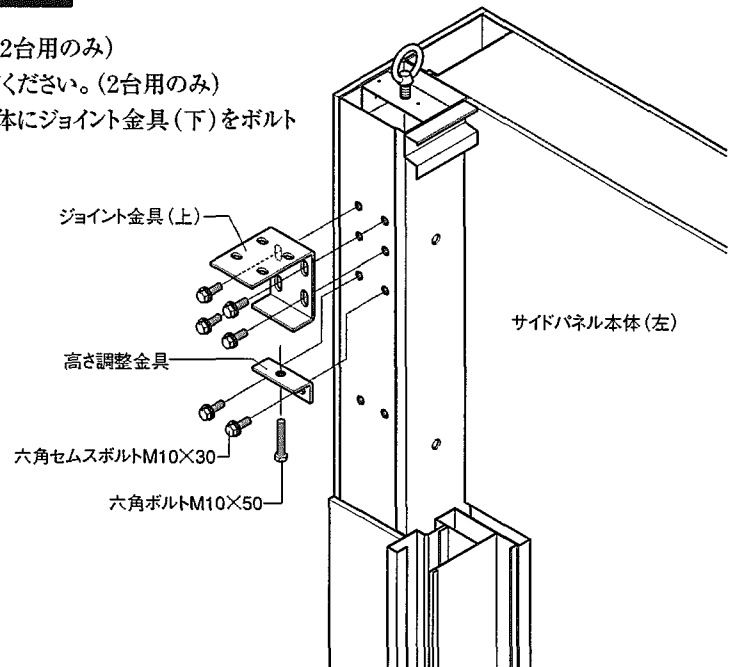
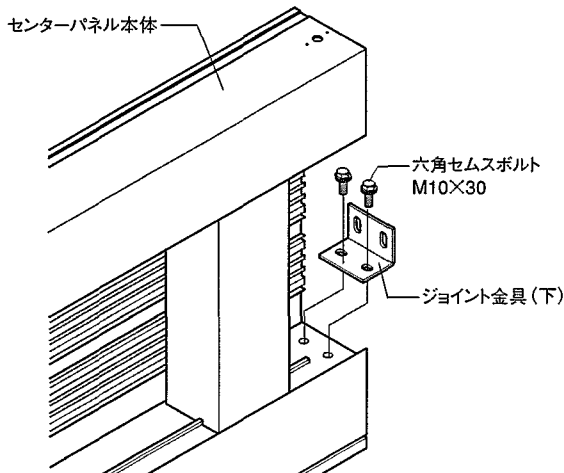
ナベタッピンネジ(2種)M4×10

埋込調整金具

※本図は外観左用サイドパネルを内観図で示しています。

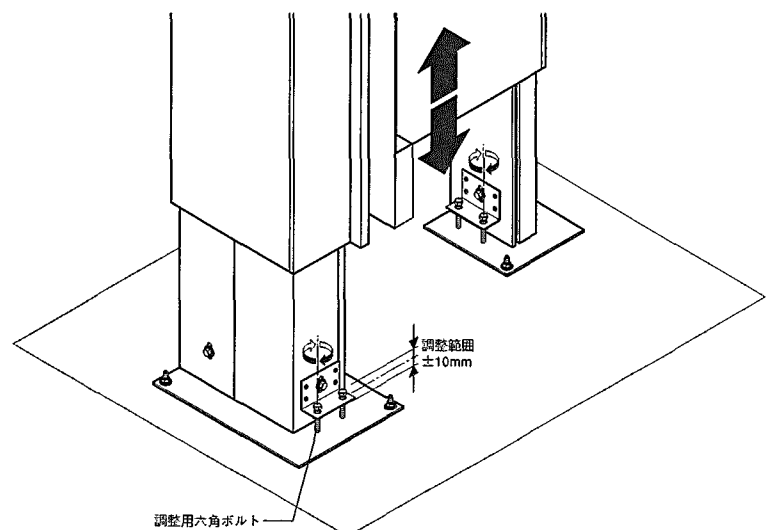
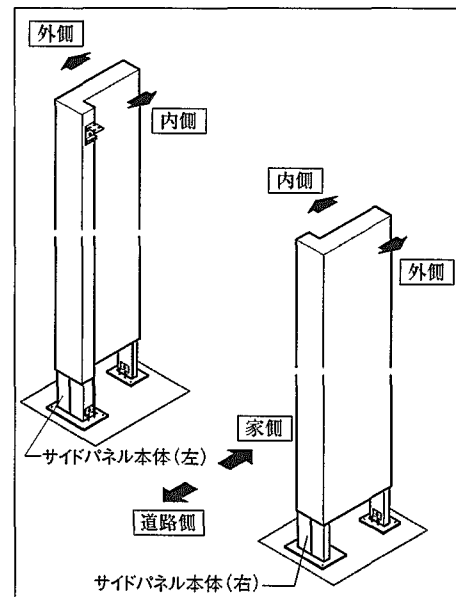
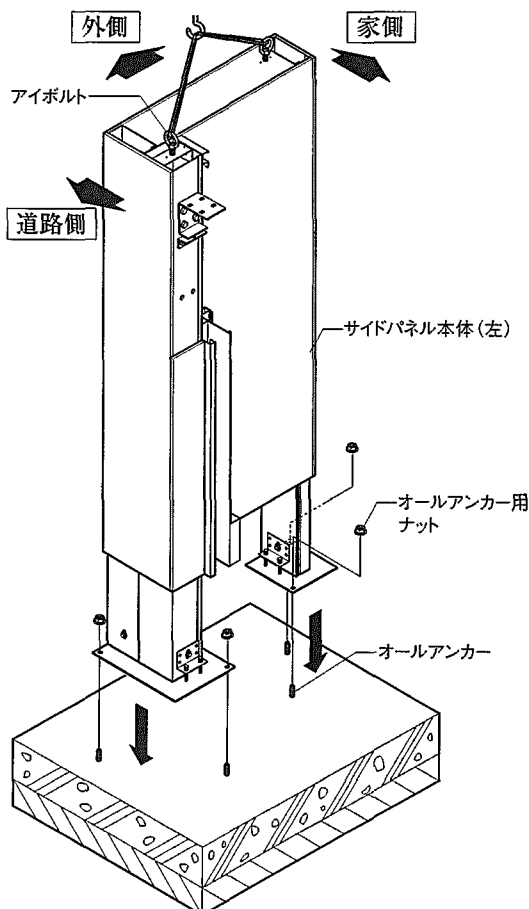
六角WセムスボルトM10×30

ベースプレートA

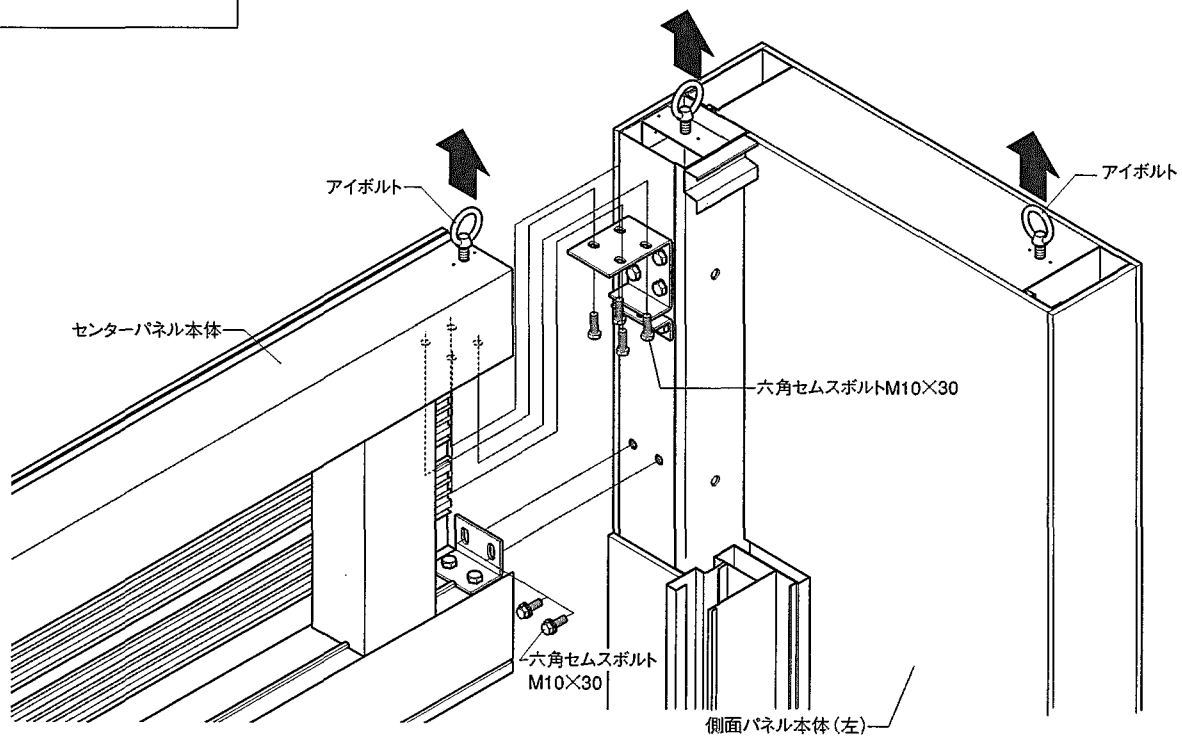
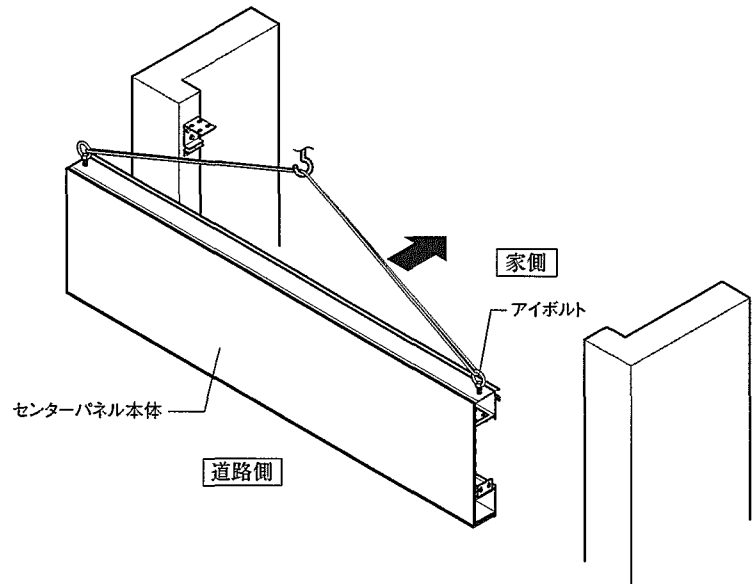
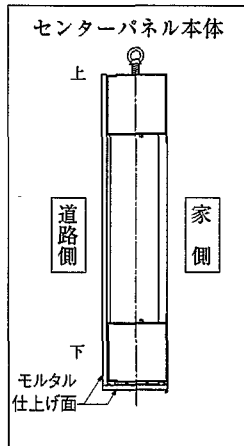
ベースプレートB

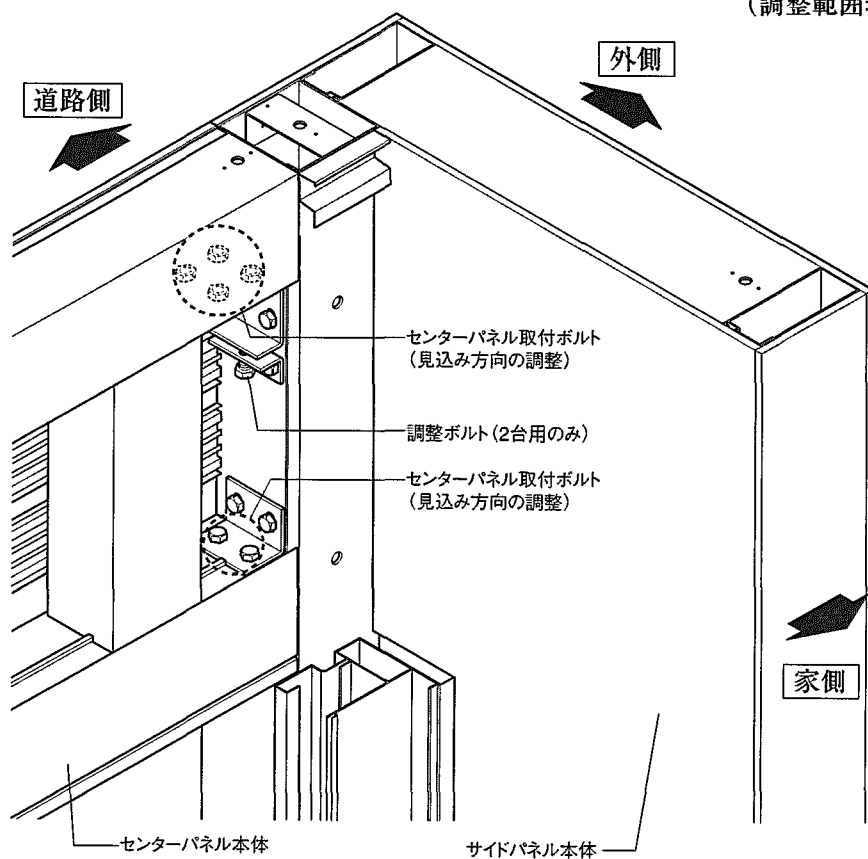
■ジョイント金具の取付

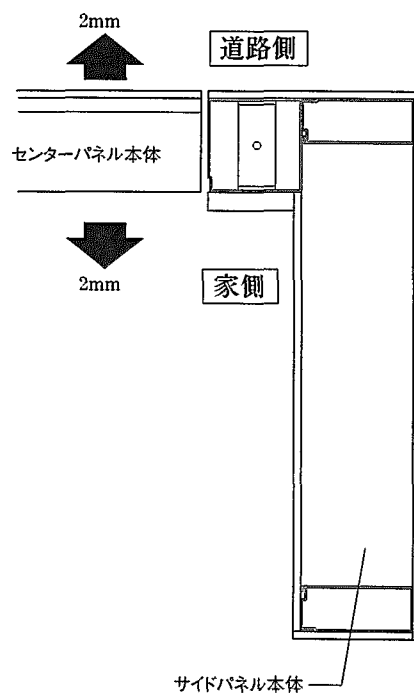
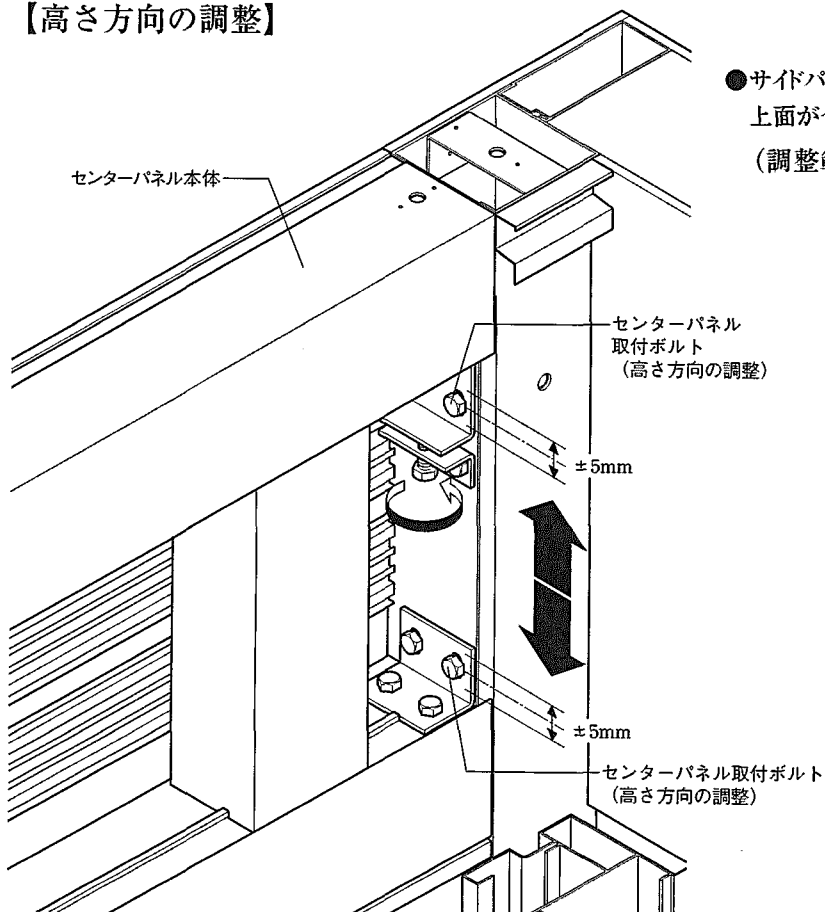
●高さ調整金具に六角ボルトM10×50をねじ込んでください。(2台用のみ)
●サイドパネル本体(左·右)に高さ調整金具をボルトで固定してください。(2台用のみ)
●サイドパネル本体にジョイント金具(上)を、センターパネル本体にジョイント金具(下)をボルトで固定してください。

■サイドパネルユニットの取付

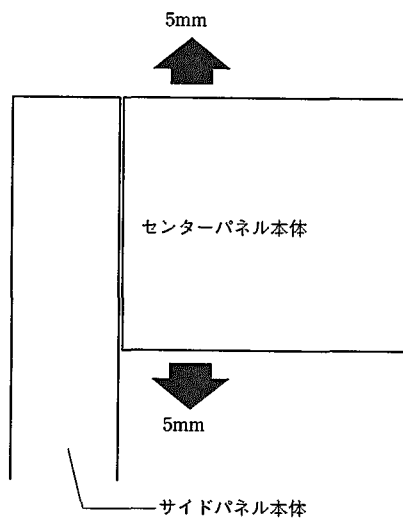
●アイボルトを、サイドパネル上(2ヶ所)に取付けてください。

①サイドパネル(右·左)をユニック車で吊り、アンカー位置とベースプレート穴位置を合わせて置いてください。
②アンカー用のナットを用いて仮止めし、調整ボルトにて左右のサイドパネル及び水平·垂直の調整を行ってください。
③調整完了後、各ボルト·ナットを本締めしてください。

■センターパネルの取付

●アイボルトをセンターパネル上(2ヶ所)に取付けてください。
●ユニック車を利用し、サイドパネルにセンターパネルを取付ボルトで仮固定してください。
※サイドパネル固定後、アイボルトは取りはずしてください。

■壁のレベル調整

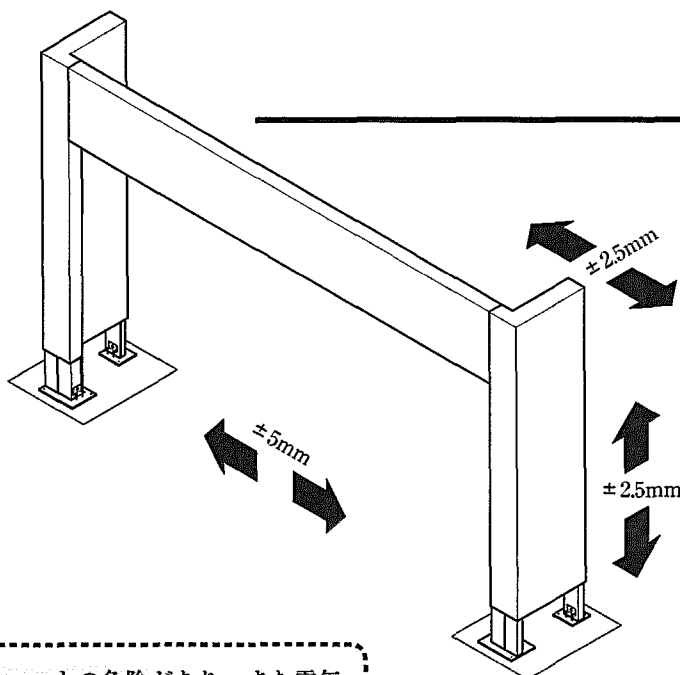
【見込み方向の調整】

●センターパネル取付ボルトをゆるめ、サイドパネルパネルとセンターパネルの正面が合うように調整してください。

（調整範囲±2mm）

【高さ方向の調整】

●サイドパネル取付ボルトをゆるめ、センターパネルとサイドパネルの上面が合うように調整ボルトで調整してください。

（調整範囲±5mm）　（調整ボルトは2台用のみです。）

■レベルチエェック、固定

①仮止めボルト・調整用ボルトを本締め後、全体のレベルを確認してください。

②再度、全てのねじ・ボルト類の締め付けを確認してください。

注 各部寸法の許容差は、間口±5mm、柱の倒れ±2.5mm、左右の柱の高さ±2.5mmです。寸法が許容差を超えますとシャッターが取付けできなかったり、動作不良が発生する怖れがあります。

■一次側電源の設置

お願い ●屋内配線・電源接続などは、感電やショートの危険があり、また電気工事の資格が必要ですので、最寄りの電気工事店にご依頼ください。

●レールカバーAの[A部]に位置にCD管(呼び16)を300mm程度立ち上げて設置してください。
一次側電源はH(シャッター開口高さ)+300mm程度出しておいてください。

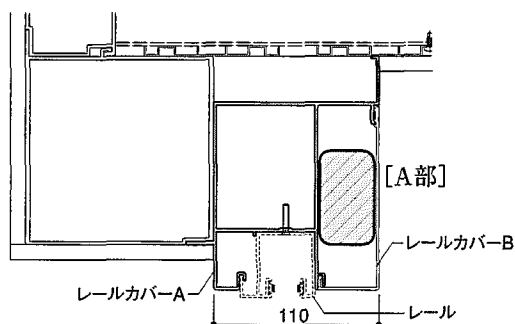
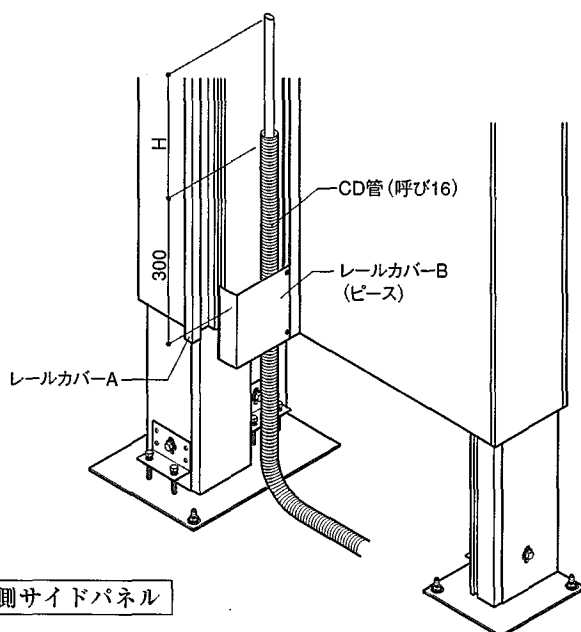
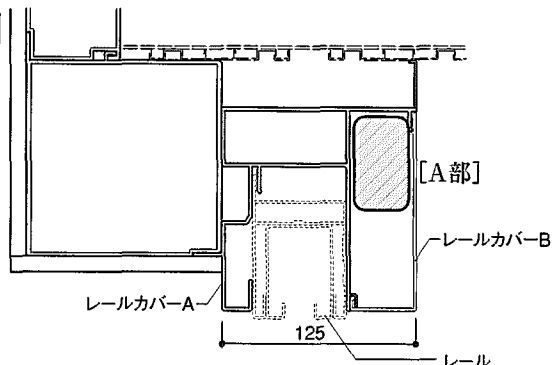
※レールカバーAは取付済み。レールカバーB・レールは外壁仕上げ完了後に取り付けます。

【車1台用】

[A部]
レールカバーB
レールカバーA
110
レール

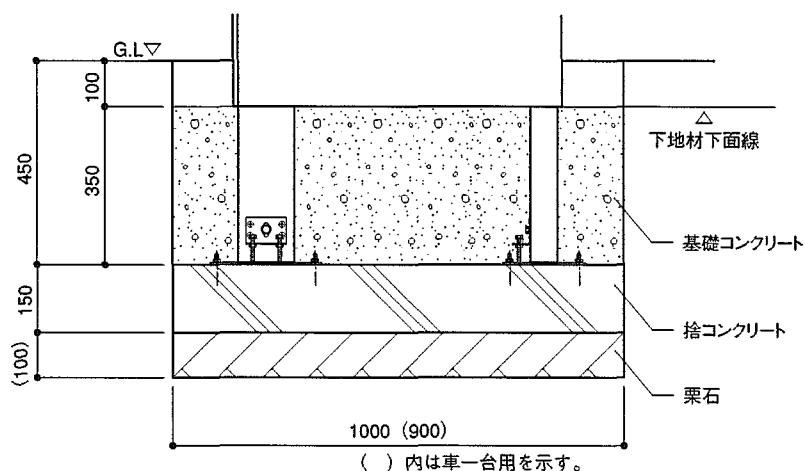
【車2台用】

[A部]
レールカバーB
レールカバーA
125
レール

H
300
CD管(呼び16)
レールカバーB
(ピース)
レールカバーA

外観左側サイドパネル

配線上のご注意
●電気配線には、必ず過電流保護付きの漏電ブレーカーとアース工事(D種接地工事)を行なってください。
●合成樹脂管内での電線ケーブルの接続は行なわないでください。
●合成樹脂管の埋め込み深さは、300mm以上にしてください。
●合成樹脂管のR曲げを行なうときは、内径の6倍以上にしてください。

■基礎コンクリート施工

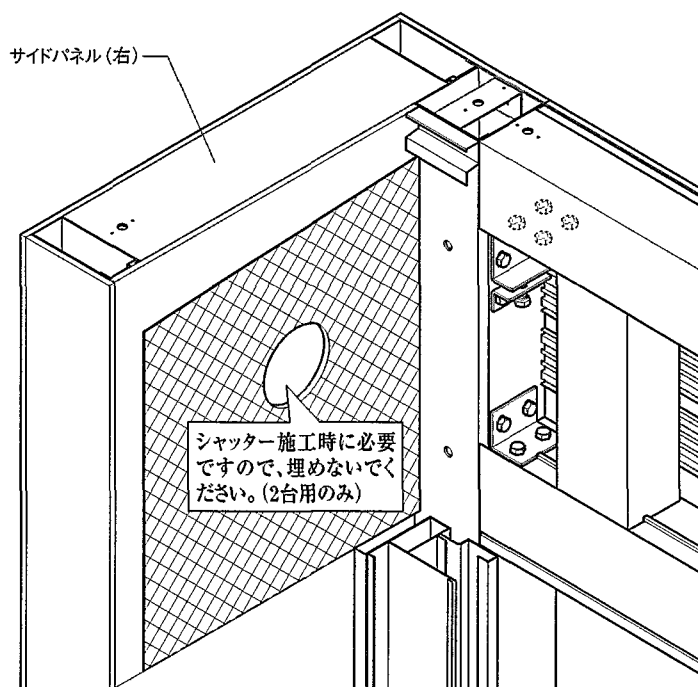
①下地材下面まで基礎コンクリートを施工します。
※シャッターレール取付けの為埋めすぎないようにご注意ください。
②サイドパネル下にもスキ間なくコンクリートが行きわたる様に注意してください。
③ゲート及びシャッター取付け完了後に、G.Lシール位置まで土間仕上げをしてください。

■外壁仕上げ

●下地ボード部分を外壁仕上げしてください。

注 仕上げ厚は20mm以下にしてください。またその場合も、モルタルを含めた重量を40kg/㎡以下にしてください。
ゲート施工後、下地ボードが汚れないうちに速やかに仕上を行ってください。
施工の際に下地ボードの突合せ部に隙間が生じてしまった場合は、変性シリコンにてシールを施してください。
仕上前に平はけ、またはエアーブラシにてちり、ホコリ等を除去してください。
汚れの激しい場合は水洗いの上、仕上げ工事直前にモルタル接着増強剤（ハイフレックス2～4倍液等）を塗布してください。
雨等で表面がぬれている場合は、モルタルが付き難くなりますので、表面の水分を拭き取ってから仕上げを行ってください。

※仕上方法については17·18ページをご覧ください。

【車2台用】

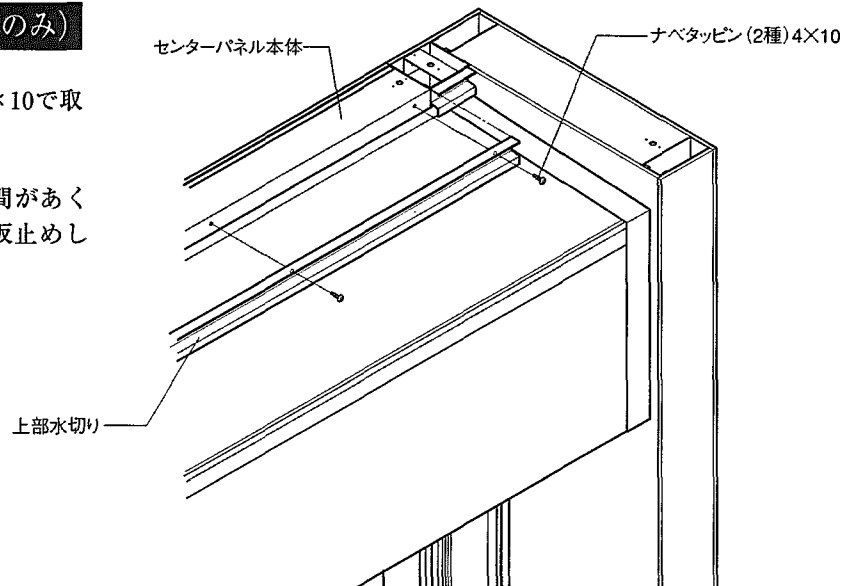
※アルミシャッターまたはハイリンクシャッターの場合、▩表示部分については厚さ12㎜未満の仕上げとしてください。

シャッターの取付

●シャッターの取付及び電気工事につきましては当社営業所へご依頼ください。
取付概要については11～14ページに記載してあります。

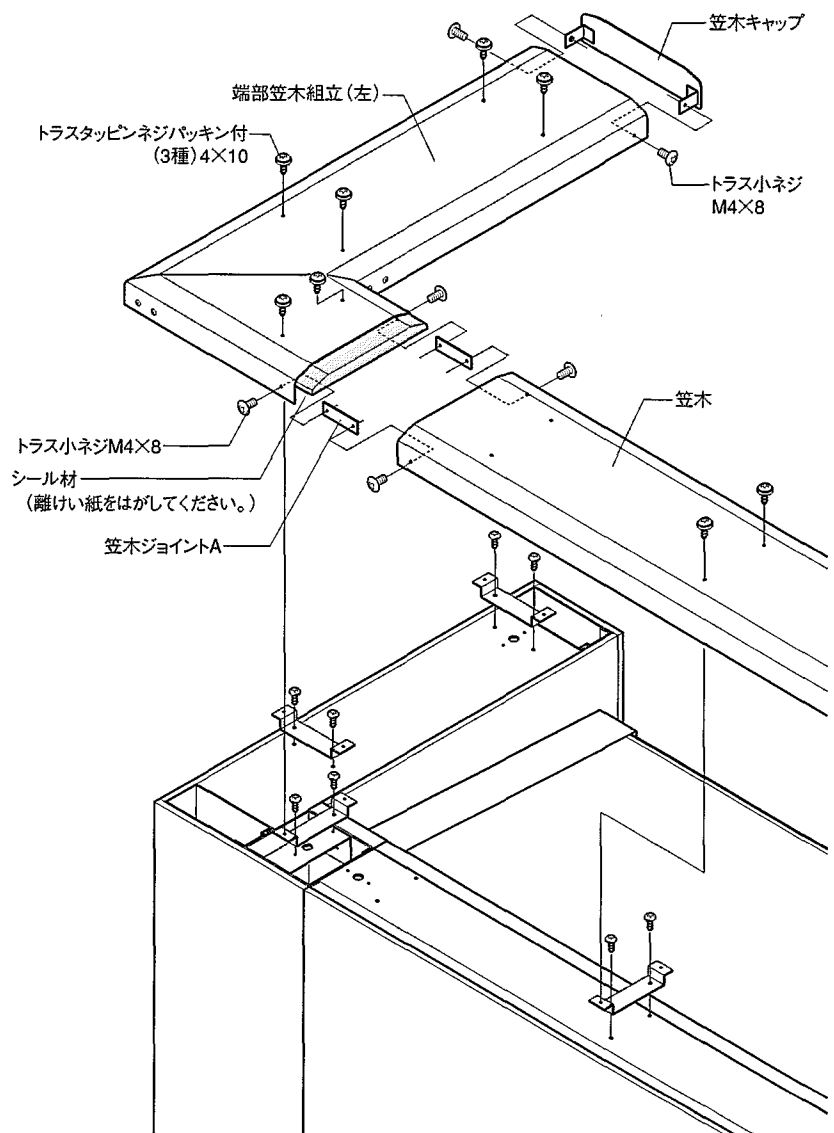
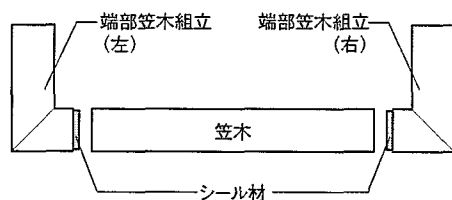
⚠注意　：以下の作業は、必ずシャッター取付け後に行ってください。

■上部水切りの取付（2台用のみ）

●下穴に合わせてナベタッピン4×10で取付けてください。

注　シャッター取付工事まで時間があく場合は、紛失しないように仮止めしてください。

■笠木の取付

①サイドパネル、センターパネルに笠木台座を取付けてください。
②端部笠木組立に付いているシール材のはく離紙ははがし、笠木ジョイントAを介して組立てください。
③笠木台座に笠木を取付けてください。
④端部笠木に笠木キャップを取付けてください。

注　シャッター取付工事まで時間があく場合は、紛失しないように仮止めしてください。

■土間コンクリート施工

●GL位置まで土間コンクリート仕上げを行ってください。シャッター開口部分は水平に仕上げてください。

車1台用の場合

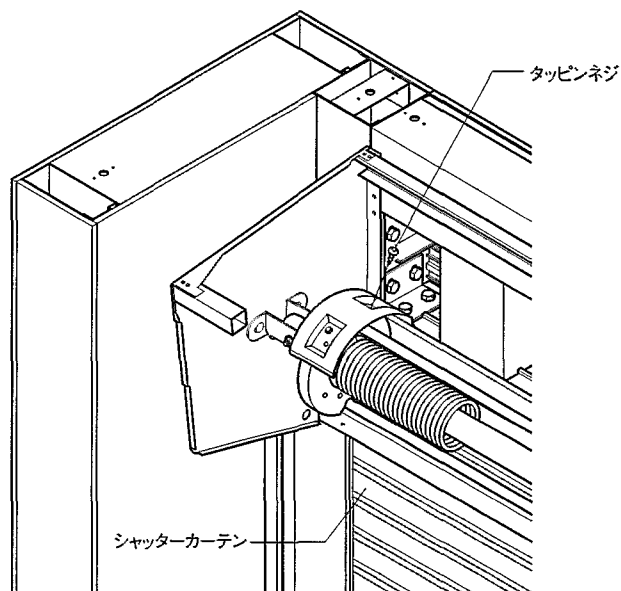
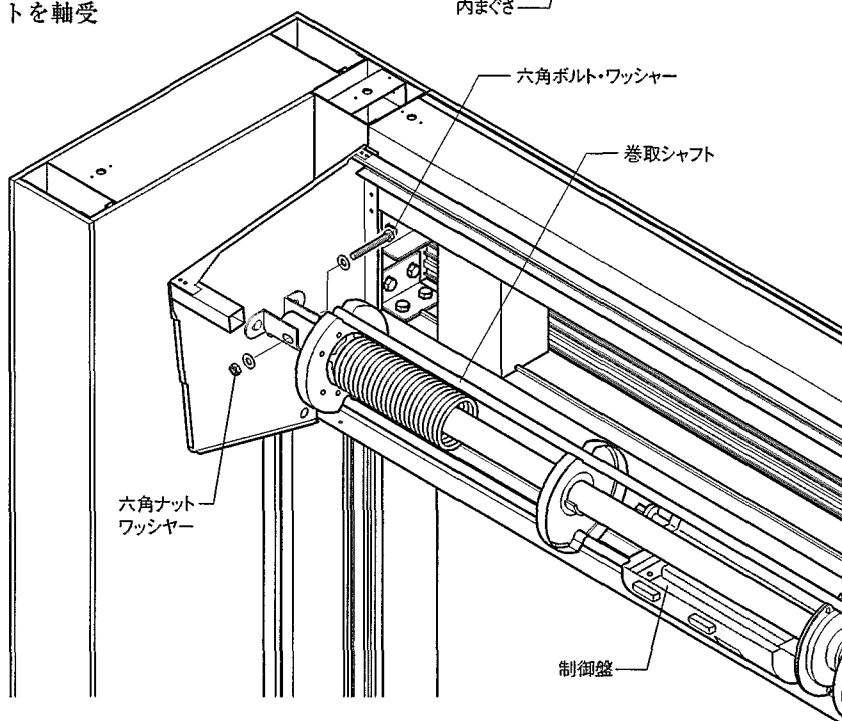
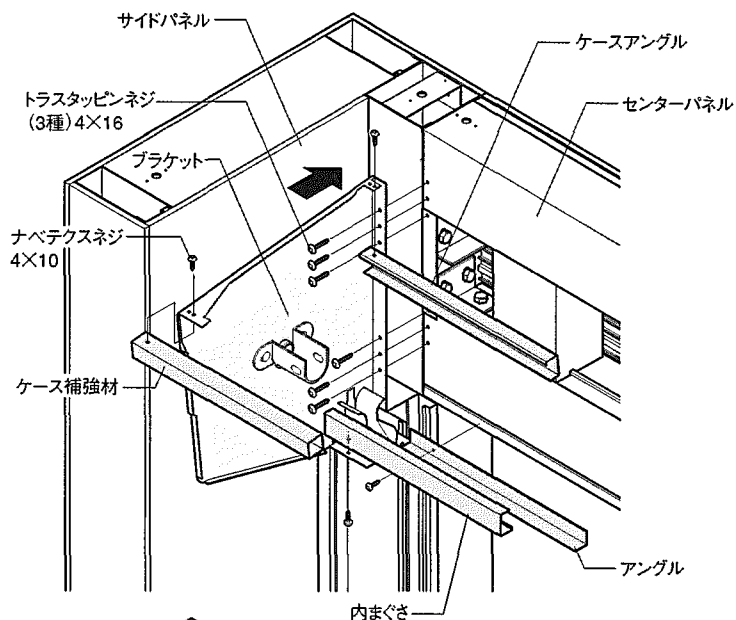
①ブラケット・ケースアングルの取付

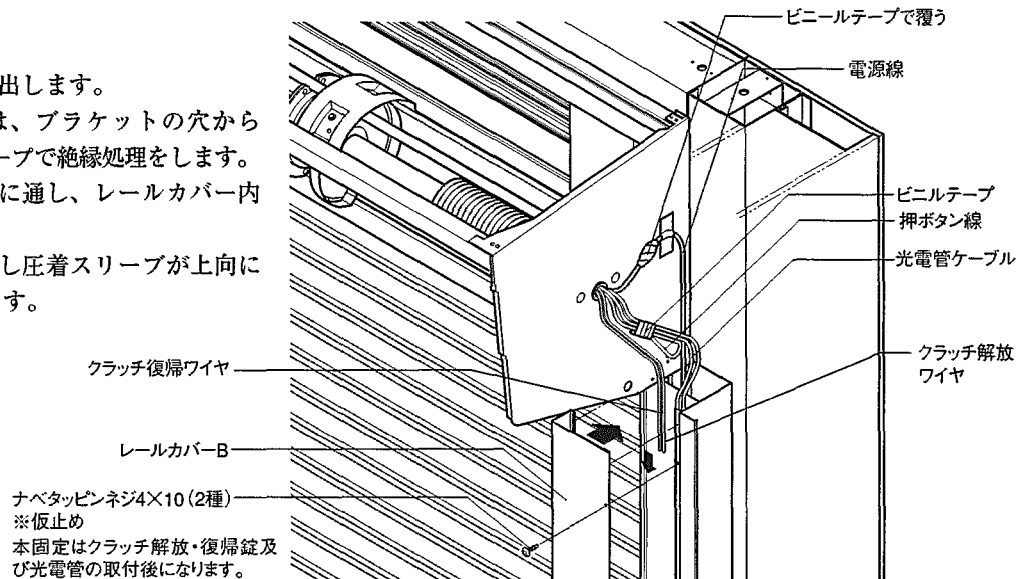
・ブラケットをトラスタッピンネジ（3種）でセンターパネル（ブラケット裏板）及びサイドパネルに取付けます。

②巻取りシャフト・シャッターカーテンの取付け

注意	●シャッターカーテンを取り付けるまでは、ホイール取付けピンは絶対に抜かないでください。ホイールが激しく回転して大変危険です。

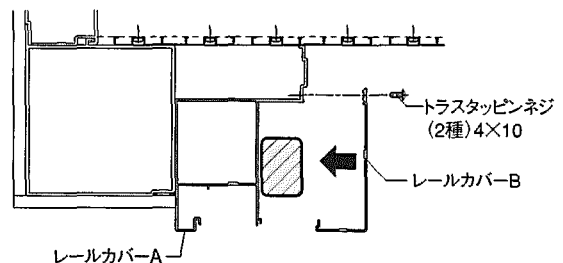
・開閉機の制御盤を下向きにして、巻取シャフトを軸受けにのせて固定します。

六角ボルト・ワッシャー
巻取シャフト
六角ナット
ワッシャー
制御盤

電線の配線

(1)電線類をブラケットの外側に出します。
(2)使用しない線(押ボタン線)は、ブラケットの穴から250mm程度で切断し、絶縁テープで絶縁処理をします。
(3)電源線をブラケットの配線穴に通し、レールカバー内へ引き込みます。
(4)電源線を圧着スリーブで接続し圧着スリーブが上向になるようにテープで固定します。

③光電スイッチの取付

・車2台用の頁を参照してください。

注意 結線は必ず光電スイッチ取付キットに付属の取付説明書に従って確実に防水処理を行ってください。

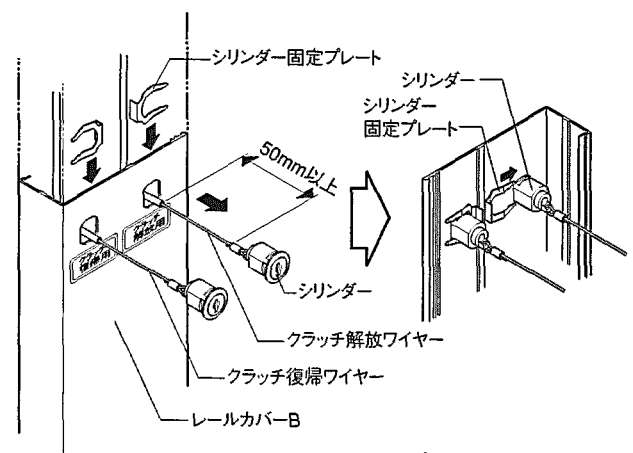
④レールカバーA ▨ 部を利用して配線を行い、レールカバーBを仮止めして動作確認を行ってください。

・クラッチ復帰ワイヤ（先端赤色マーキング付き）とクラッチ解放ワイヤをレールカバー内に通します。

⑤クラッチ操作ワイヤの取付け

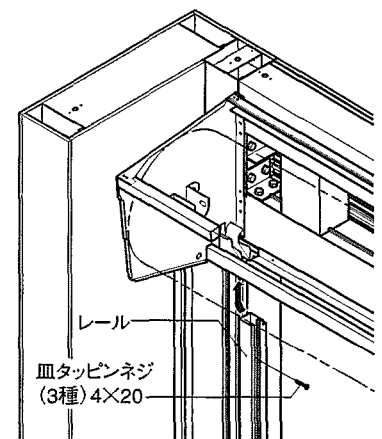
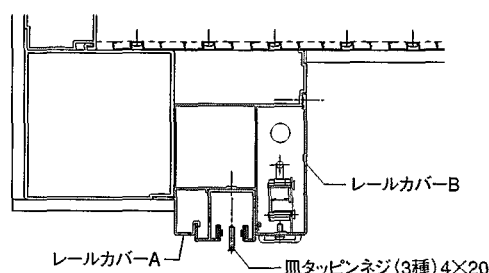
・クラッチ解放ワイヤ／クラッチ復帰ワイヤの2本ワイヤがあります。
・クラッチ復帰ワイヤのみ先端に赤色のマーキングが有ります。

取付手順

(1)クラッチ解放錠、クラッチ復帰錠をレールカバーBの切欠き部に取付けます。（クラッチ解放錠を右側、クラッチ復帰錠を左側に配置します。）
(2)クラッチ復帰ワイヤ（先端赤色マーキング付）をガイド側のシリンダの穴に通してスリーブでかしめます。
クラッチ解放ワイヤを配線プレート側のシリンダの穴に通してスリーブでかしめます。このとき、ワイヤストロークは50mm以上確保してください。

・すべてのチェック完了後、レールカバーBを本固定してください。

■レールの取付

シャッターを上げた状態で取付けを行ってください。

・レール本体先端（切欠きのある側）をブラケットのガイド凹部に差し込み皿タッピンネジ（3種）4×20でレールカバーAに固定します。

車2台用の場合

①ブラケット・ケースアングルの取付

・サイドパネルへブラケットを六角WセムスボルトM12×30で取り付けます。

②シャッターの取付けはシャッターの施工要領を参照してください。

③レールの取付け―シャッターを上げた状態で取付けを行ってください。

・レールカバーAの長穴加工部でレールをナベタッピンネジ(2種)4×6(5本)で仮固定してください。

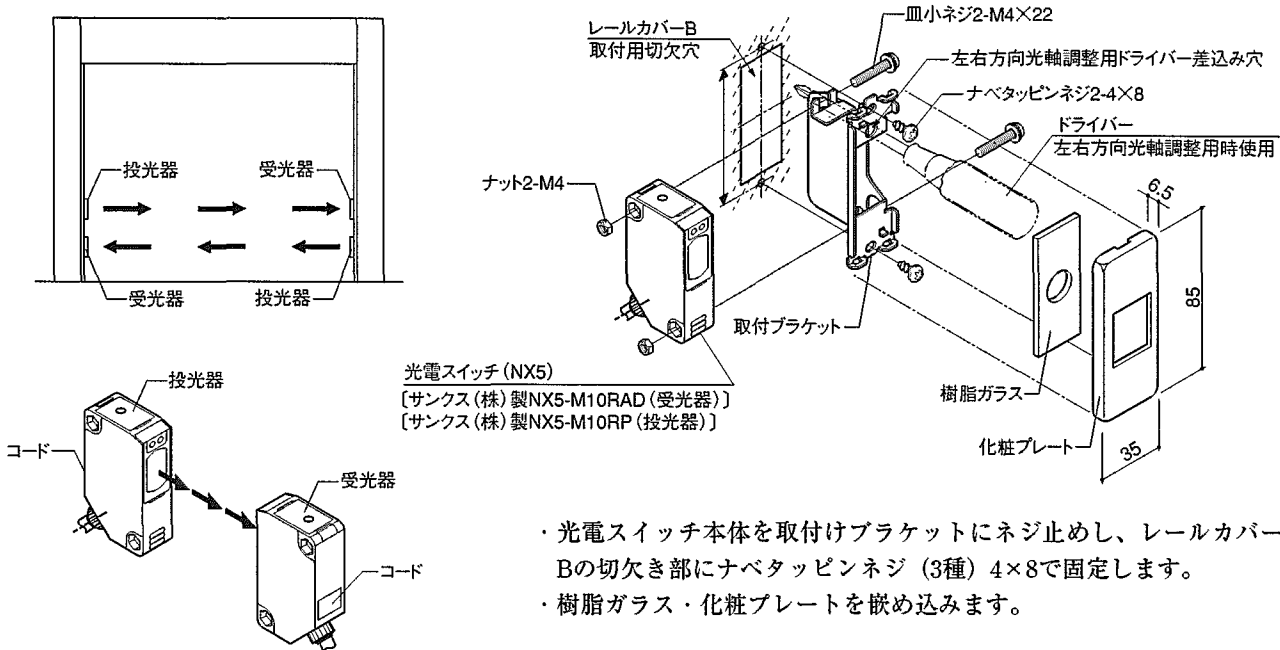
・開口寸法等微調整後、レールカバーAの穴に合わせ、レールに下穴加工(ϕ3.5)をし、ナベタッピンネジ(2種)4×6(5本)で固定してください。

④光電スイッチの取付

光電スイッチ取付け上の注意点

・光電スイッチは投光器と受光器各1個が1組で、本商品には2組取り付けます。
取付けに際しましては、下図を参照に投光器・受光器を間違えないよう取り付けてください。

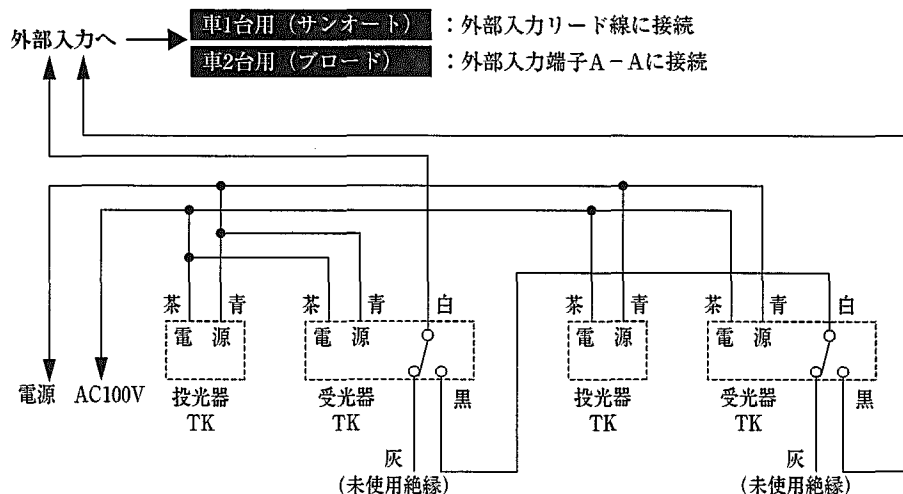
・光電スイッチ本体を取付けブラケットにネジ止めし、レールカバーBの切欠き部にナベタッピンネジ(3種)4×8で固定します。

・樹脂ガラス・化粧プレートを嵌め込みます。

⑤接続方法

1)光電スイッチ接続図

次の接続図を参照して結線してください。

なお、受光器の灰色線は使用しませんので、絶縁テープで絶縁してください。

注)光電スイッチを接続しないとシャッターは正常に動作しません。
ただし、リミット設定モードでの動作は可能です。

2)制御盤ディップスイッチ

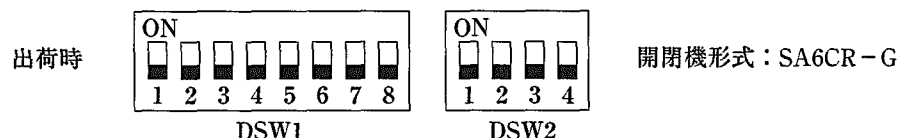
ディップスイッチの変更は行いません。

光電スイッチスイッチを正しく接続した状態でシャッターの動作が正常でない場合は、下記設定通りになっているか確認してください。

車1台用（サンオート）

出荷時

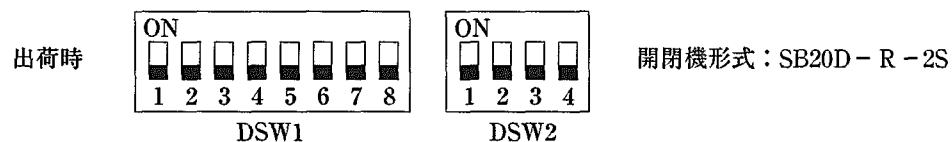
DSW1 DSW2

開閉機形式：SA6CR－G

設定を変更した場合は、 必ず電源を2秒以上切るか設定スイッチを2秒以上押してください。

車2台用（ブロード）

出荷時

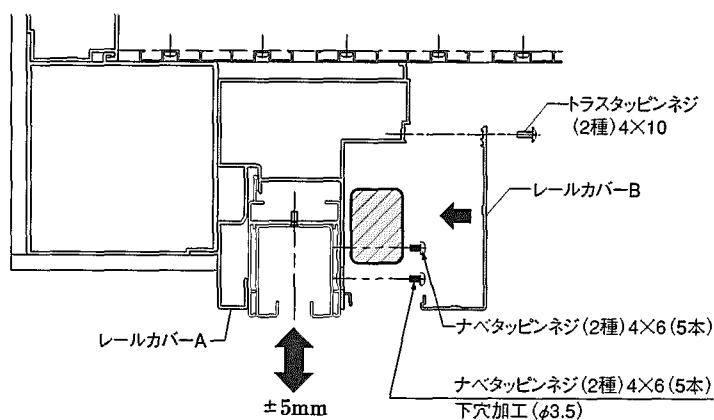
DSW1 DSW2

開閉機形式：SB20D－R－2S

設定を変更した場合は、 必ず電源を2秒以上切るか設定スイッチを2秒以上押してください。

注意 結線は必ず光電スイッチ取付キットに付属の取付説明書に従って確実に防水処理を行ってください。

⑥レールカバーA ▨ 部を利用して配線を行い、レールカバーBを仮止めして動作確認を行ってください。
すべてのチェック完了後、レールカバーBを本固定してください。

⑦ケースの取付け

・シャッターに付属のケースの取付け説明書を参照してください。

基本図

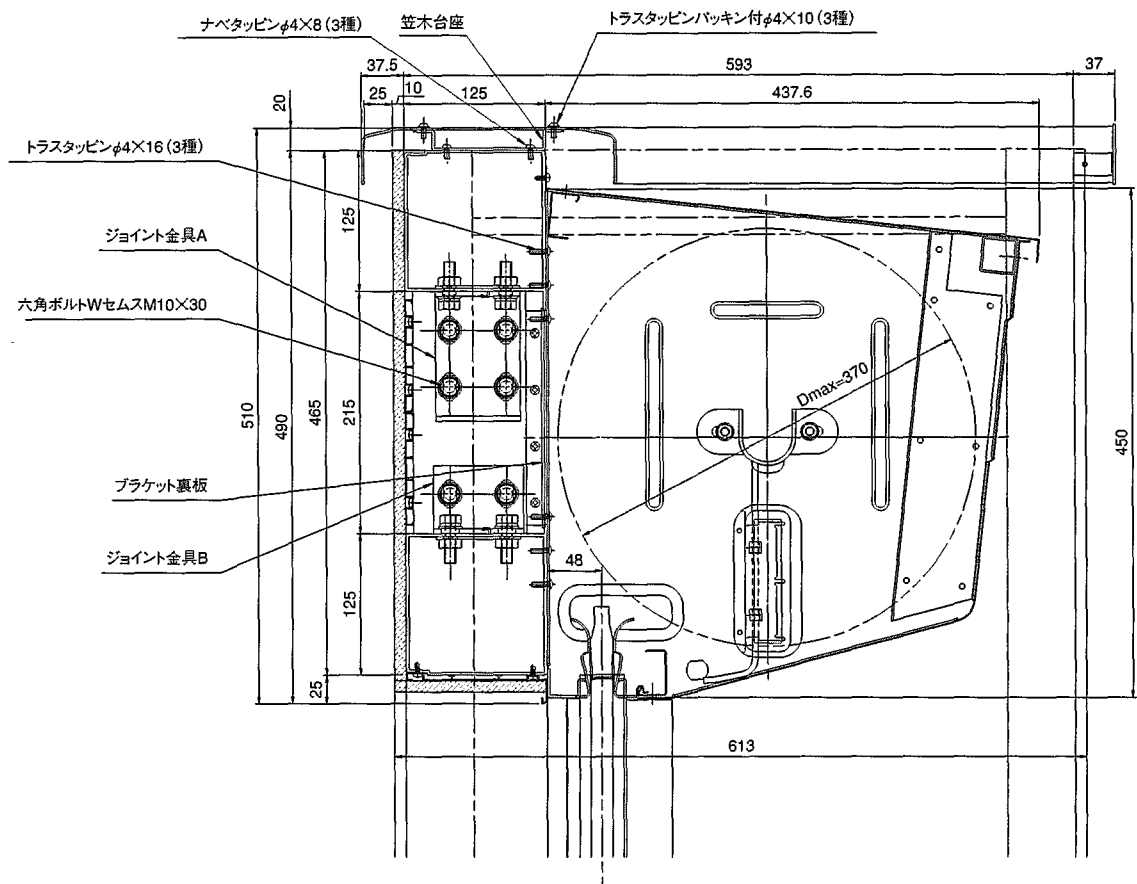
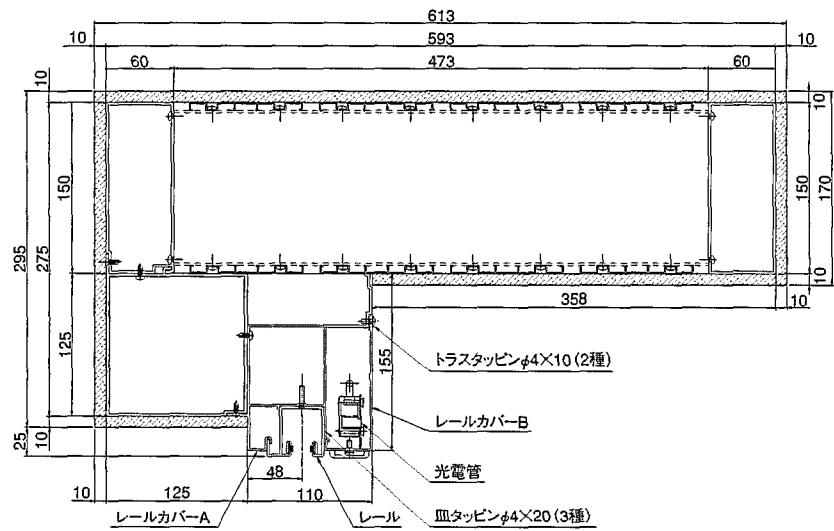
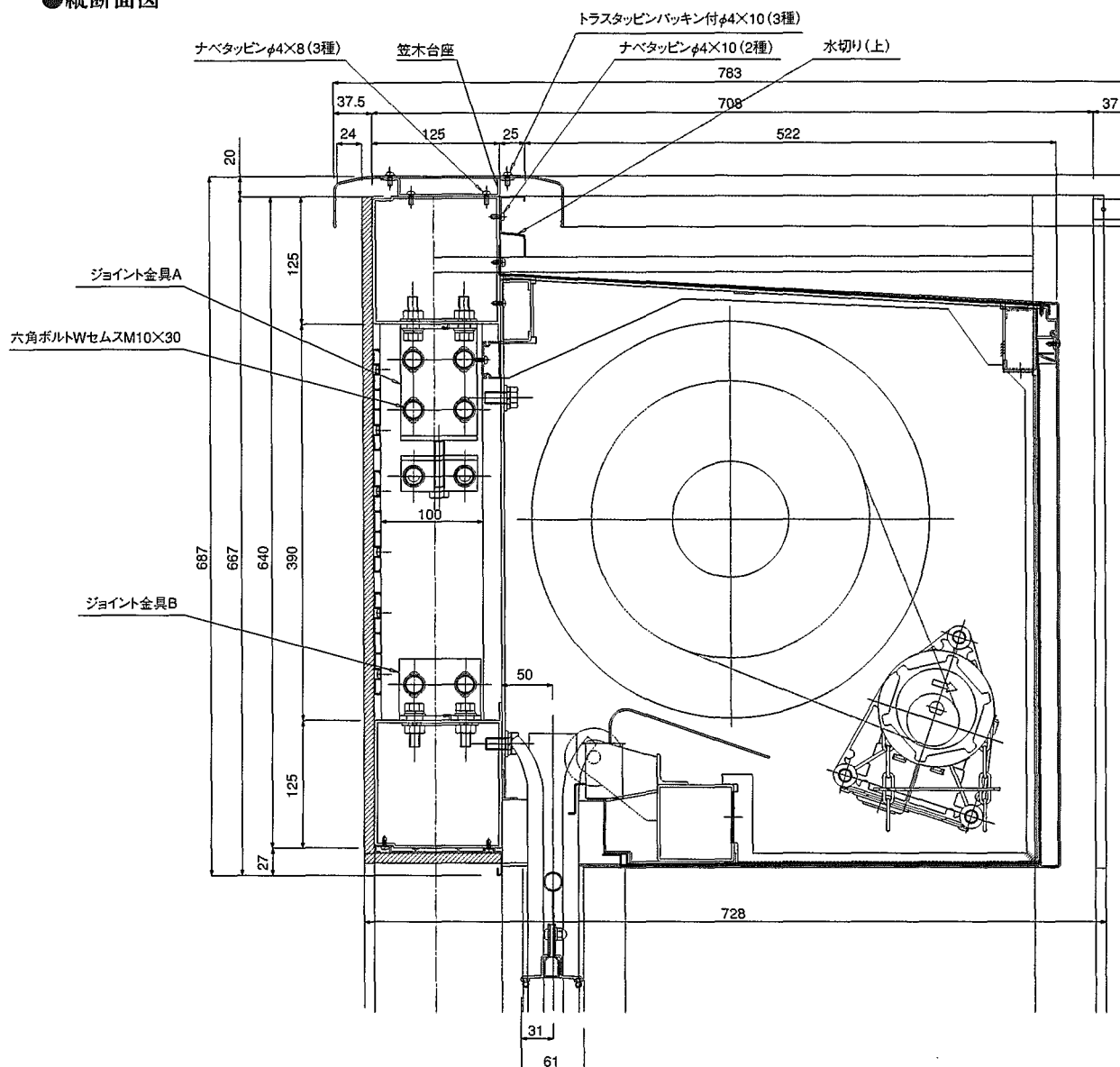
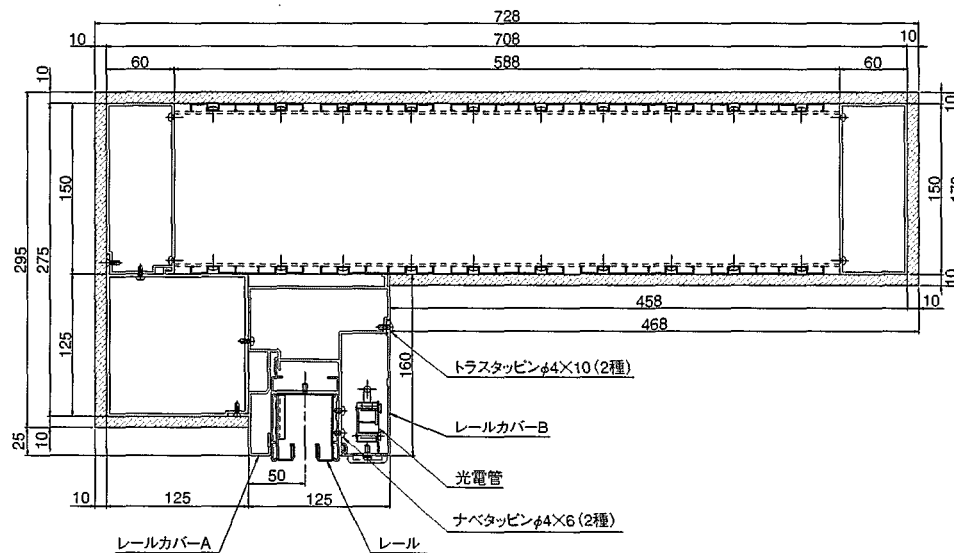
車1台用

●縦断面図

●横断面図

車2台用

●縦断面図

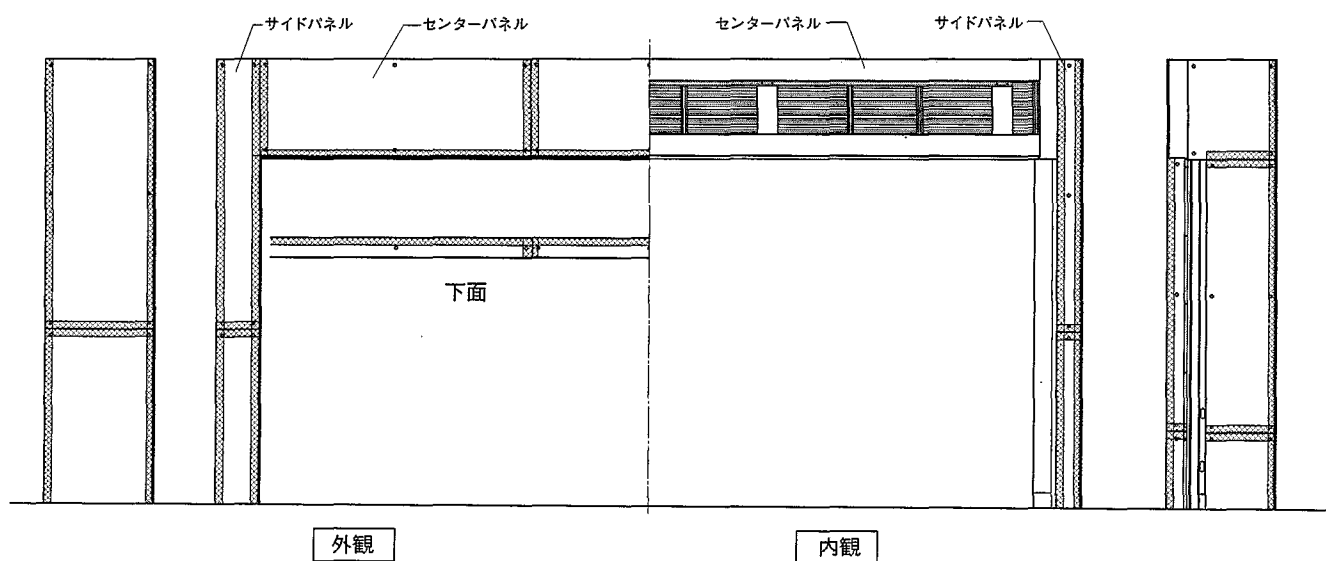
トラスタッピンパッキン付φ4×10（3種）
ナベタッピンφ4×8（3種）
笠木台座
ナベタッピンφ4×10（2種）
水切り（上）
ジョイント金具A
六角ボルトWセムスM10×30
ジョイント金具B

●横断面図

下地ボードの仕上方法について

四国化成工業（株）製のパレットを用いた仕上を行う場合

●サイドパネルとセンターパネルの接合部は接合部分が開かないようにヘラで下地ボードの突合せ部に変性シリコンを充填してください。（隙間が無い場合は不要です）
もし、下地ボードの繋ぎ目に隙間がある場合は同様に変性シリコンを充填してください。下地ボードの繋ぎ目をJ-ファイバーテープで補強後、SKカチオンプラスターを1mm程度、2回塗りします。

●充分に養生（夏期1日以上、冬期2日以上）を行った後、パレットを塗り仕上ます。上塗りは2回塗り（仕上厚は1～2mm）を標準としてください。また、施工時・養生時とも雨がかからないようにしてください。

●更に防汚効果を持つスーパートップコートを塗ると後々のお手入れが大変楽になります。
（各々の材料の取扱に関しては、梱包にかかれている説明、あるいは同梱されている説明書をご覧ください）

ご注意： 模様付けなし仕上は出来ません。必ず模様付けを行ってください。寒水石は混入しないでください。

〔参考図〕標準サイズにおける補強例　ファイバーテープ貼付位置

その他塗装仕上げの場合

●サイドパネルとセンターパネルの接合部は接合部分が開かないようにヘラで下地ボードの突合せ部に変性シリコンを充填してください。(隙間が無い場合は不要です)
・もし、下地ボードの繋ぎ目に隙間がある場合は同様に変性シリコンを充填してください。
・下地ボードに欠損を生じた場合には、「太平洋マテリアルマイルド -2」等を用いて修正してください。
・下地ボード繋ぎ目をファイバーテープで補強してください。

〔太平洋マテリアル製 KSM を使う場合〕

●モルタル塗りつけの 3 時間以上前までに下地ボードの表面に KSM エマルジョンの 3 倍液を刷毛で塗布してください。(推奨)
・KSM#30 または #50 には KSM エマルジョンを混練してください。(混合比は商品に記載してあります)
・下塗りは混錬する水の量を 10 ~ 15%程度少なくしてください。
・KSM#30 または #50 を 5mm 程度下塗りし、生乾きの状態で耐アルカリガラス繊維ネット (スーパークラックノン・日本電気硝子 (株) 等) を全面に伏せ込み、同じ材料で点付けして動かないようにしてから、3 ~ 5mm 程度中塗りしてください。
・#30または#50であれば同日の施工は可能です。但し気温・湿度等により変わります。
・中塗りは規定の混合比にしてください。
・GLから約 100mm は目地を設けて巾木処理としてください。
・施工後、急激な乾燥を避けるように養生してください。
・充分に養生期間を置いた後、上塗りは仕上材の仕様にしたがって行ってください。

〔昭和電工製ハイモルを使う場合〕

●ハイモルスーパー #30 または #100 とハイモルエマルジョンを用いて同様の仕上が可能です。

ご注意：
・上塗りには微弾性の塗料を使用してください。(パレットは微弾性塗料です。)
・微弾性の塗料を使用した場合でも経年変化で塗装面に細かいひびが入る場合があります。
・弾性のない塗料を使用した場合はひびの入る可能性が高くなります。
・弾性塗料を使用した場合はまれに塗装面に膨れが発生する場合があります。
・上記の症状は塗装の性質上、完全に回避する事はできません。(パレットにおいても同様です。)
・エポキシ樹脂系塗料の施工は避けてください。
・連棟仕様の場合は必ず連棟用サイドパネルとセンターパネル間を変性シリコンを用いて亀裂誘発目地を設けてください。

タイル貼りの場合

●下地ボードの繋ぎ目をファイバーテープで補強してください。
●サイドパネルとセンターパネルの接合部は変性シリコンでシーリングし、伸縮目地としてください。

〔改良圧着貼り〕

・タイル接着用プレミックスモルタル (太平洋圧着セメント等) を製品の仕様に従い混錬して (混錬する水の量は 10 ~ 15% 程度少なくしてください。) 5mm 程度塗りつけてください。
・タイル接着用プレミックスモルタルを用いて改良圧着貼りにてタイルを施工してください。
・伸縮目地の仕様についてはタイルメーカーの仕様に従ってください。

〔接着剤貼り〕

・下地ボードの繋ぎ目をファイバーテープで補強してください。
・サイドパネルとセンターパネルの突合せ部は変性シリコンでシーリングし、伸縮目地としてください。
・タイル貼り用接着剤を用いて接着貼り用タイルを貼る事が出来ます。

ご注意： センターパネル下部に施工する際は落下防止の処置を施してください。
仕上げ厚はモルタル厚を含み20mm以内にしてください。また、モルタルを含む仕上の重量は40kg/㎡以下に抑えてください。

電動装置の仕様

項目		2台用	1台用
開閉機	出力	200W	40W
	定格電圧	AC100V（50/60Hz）	AC100V（50/60Hz）
	定格電流	3.6A（50Hz）/ 4.6A（60Hz）	1.8A（50Hz）/ 1.9A（60Hz）
	時間定格	10分	5分
使用周囲温度		−10～40℃	
開閉時間（H=2300）		約20秒（50Hz）	約31秒（50Hz）
操作		リモコン×3	リモコン×2
安全装置		光電スイッチ×2組	
ハンディータイプリモコン送信機	電池	CR2025型リチウム電池（3.0V）×1	
	送信距離	20m（ただし、周囲の電波環境や障害物等により大きく変化することがあります。）	

（シャッター1台あたり）

取説コード：ZZZ－5489C 2008年6月現在

■施工工事店様、販売店様へのお願い

●「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
●この取付説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施工完了日	年　　月　　日
施工工事店	TEL（　　　）　　-
販売店	TEL（　　　）　　-

新日軽株式会社
本社／〒136-0076
東京都江東区南砂2－7－5

この商品についてのご質問やご相談は下記の窓口にお問い合せください。
お客様相談室 0120-37-2534

東北エクステリア支店…………☎022-297-3354
関東エクステリア支店…………☎03-5677-8729
名古屋東海エクステリア支店……☎052-731-1920
大阪エクステリア支店…………☎06-6479-3234
中四国エクステリア支店………☎082-544-4144
九州エクステリア支店…………☎092-523-8890
札幌住宅建材支店…………☎011-219-7511
東北住宅建材支店…………☎022-297-3364
関信越住宅建材支店…………☎027-328-2881
関東住宅建材支店…………☎03-3842-7123
中部東海住宅建材支店………☎052-731-1911
大阪住宅建材支店…………☎06-6390-1331
中四国住宅建材支店…………☎082-544-4136
九州住宅建材支店…………☎092-523-7007
●電話番号、住所は移転等やその他の理由で変更になる場合があります。ご了承ください。

新日軽インターネットホームページ http://www.shinnikkei.co.jp